

令和7年度 単位PTA活動調査報告書

# アフターコロナ時代の PTA活動～その2

令和8年3月11日

静岡県公立高等学校PTA連合会

## はじめに

日ごろから、静岡県公立高等学校PTA連合会の活動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。また、昨年度に引き続いて調査にご協力いただき、重ねて感謝いたします。

令和8年度静岡県公立高等学校入学者選抜の志願倍率は、全日制だけを取り出すと90校162学科で1.00倍と過去2番目の低さとなり、定員割れとなった学校は69校、同じく学科では96学科と前年度より40学科も増加しています。これは来年度から予定されている私立高校の授業料無償化拡大の影響もありますが、それよりもかつては全県6万人であった中学校卒業生が、ここ数年は3万人程度で推移し、さらに今後10年間でさらに1万人程度の減少が予想される深刻な少子化が根本原因であることは疑いのないところです。また、同じ県内でも地域によって少子化の速度は異なり、特に伊豆地区や北遠地区、中山間部などの生徒減少は非常に顕著です。このような入学者の減少は必然的に学校規模縮小につながり、また教育空白域が生じた場合は通学下宿等に係る負担の増大なども予想され、保護者の教育に係る負担は一層高まっていく可能性が高いと思われます。

こうした公立学校の置かれた状況の変化は、学校教育を支えるPTA組織についても様々な困難や問題点を生じさせています。近年、全国的に小中学校のPTAの在り方は大きく変化していて、解散休止したり、サポーター制への移行をしたりしている単位PTAも表れてきています。また、(一社)全国PTA協議会(小中学校PTAの全国組織)の不正会計問題をきっかけに、全国組織から脱会する都道府県組織などもあります。令和6年度の本会調査によると、現在のところ本県高校・特支の加入率はほぼ100%ですが、こうした動きはやがて高P連にも波及するものと思われます。

もちろん、少子化のみがPTAの変化の原因ではなく、「コロナ禍を受けた学校行事への関わりの手控え」「家庭環境・労働状況の変化」「コスパ・タイパ意識の浸透」「前例踏襲組織への違和感」「学校と家庭の距離感の変化」など様々な要因もあり、マクロ的に見れば、PTAそのものが「強制から任意へ」「負担から参加へ」という大きな転換期にあると考えられます。

そもそも遡れば、PTAという組織の原点は、学校教育の場では保護者と学校が手を携えて子どもたちの成長を支援し、さらに社会教育の場では大人の学びを通してよりよい社会を築いていくことにあります。さらに、学校において昨今の教員不足は非常に深刻な状況です。このタイミングで、保護者も巻き込んで『学校のあり方・支え方』を大きく変えないと、肝心の子どもたちにしわ寄せが行ってしまいます。学校の一番のサポーターは保護者です。いつの時代もこの点にPTAの存在意義があり、その期待される役割はますます大きく不可欠なものになってきていると言えます。

では、単位PTAは今後どのような取組をしていったらよいのでしょうか。昨年度に引き続いて今年度実施した調査では、特に役員や会員の負担を減らしサステナブルなPTAになるため、活動上の工夫を加盟校から聞き取りました。寄せられた回答を大別すると、以下のとおりです。詳細については本文を読んでいただきたいと思います。本調査が、活動の『知恵袋』となれば幸いです。

- 1 活動の精選：会合、広報誌、イベントの削減や効率的な開催など
- 2 デジタル化：連絡、会議をオンラインでの実施など
- 3 ボランティア制への移行：役員だけではなく、行事ごとに「お手伝い」を募集など

最後に、昨年度の繰り返しになりますが、私たち静岡県公立高等学校PTA連合会には、三つの役割があると考えています。まずは、単位PTAの活動状況や各種情報を集約し、適宜情報提供をしながら活動を支援すること。本調査もその一つです。次に、会員数6万人を超えるスケールメリット(規模拡大効果)を活かして、単位PTAだけでは入手困難な情報を提供すること。最後に、本県の教育行政や、東海、全国とより大きな組織とつながってさらに大きなスケールメリットを生み、我が国の学校教育全体にコミットしていくことです。今後にご理解とご協力をお願いいたします。

## <目次>

|                            |    |
|----------------------------|----|
| はじめに                       |    |
| I 調査概要                     | 1  |
| II 調査結果                    |    |
| (1) 入会の任意性に関わる規定           | 4  |
| (2) 入会申込書や退会届の整備状況         |    |
| (3) 入会時の入会任意の説明、入会申込書の受取状況 |    |
| (4) 入会の意味確認の際の工夫           | 5  |
| (5) 退会届の受取状況               | 6  |
| (6) P T A会費について            |    |
| III 諸問題・諸課題に対する具体的な対策      |    |
| (7) P T A会費に関わる問題          | 7  |
| (8) P T A組織のスリム化・効率化       | 8  |
| (9) 学校行事への協力、会議の効率化        | 10 |
| (10) 役員選出方法の工夫             | 13 |
| (11) 特色ある活動、長く続けている取組      | 15 |
| [資料]単位P T A活動調査 質問事項       | 18 |

## I 調査概要

### 1 目的

少子化や学級減、定員減、役員のなり手不足、組織の過大感など、現在の公立高等学校・特別支援学校P T Aを取り巻く課題に対して、各校の対応や工夫、実践事例などを共有し、単位P T A及び県高P連の活動の活性化に役立てる。

- ・ P T A加入の任意性の周知と会費納入に係る現状把握
- ・ 公立学校の学級減、少子化に伴う活動や役員選出に係る工夫や改革等の把握
- ・ 特色あるP T A行事や取組の把握
- ・ 各種表彰校、東海地区発表校の候補選定に係るデータの把握

### 2 実施時期 令和7年10月～12月

### 3 回答数 114校(全加盟校118校) ※P T A未組織の学校は回答不要とした

全日制86校 定時制9校、特別支援学校25校(全定で回答が重複する学校あり)

回答者 教職員92人 管理職23人 P T A会長4人 P T A役員1人

→管理職が回答を確認済

### 4 質問事項 ※詳細は巻末資料を参照

- (1) 入会の任意性について
- (2) 入会申込書や退会届が整備について
- (3) 入会時の説明と申込書の受領について
- (4) 入会の意味確認の際の工夫について
- (5) 退会時に退会届受領について
- (6) P T A会費について
- (7) 活動の工夫について
- (8) 特色ある活動について

## 5 方 法

(1) 各单位 P T A (学校) に対して、アンケート調査への協力を依頼する。

※ Google Form を使用する。

※ 学校ごとの回答状況を把握し、できる限りの協力を呼びかける。

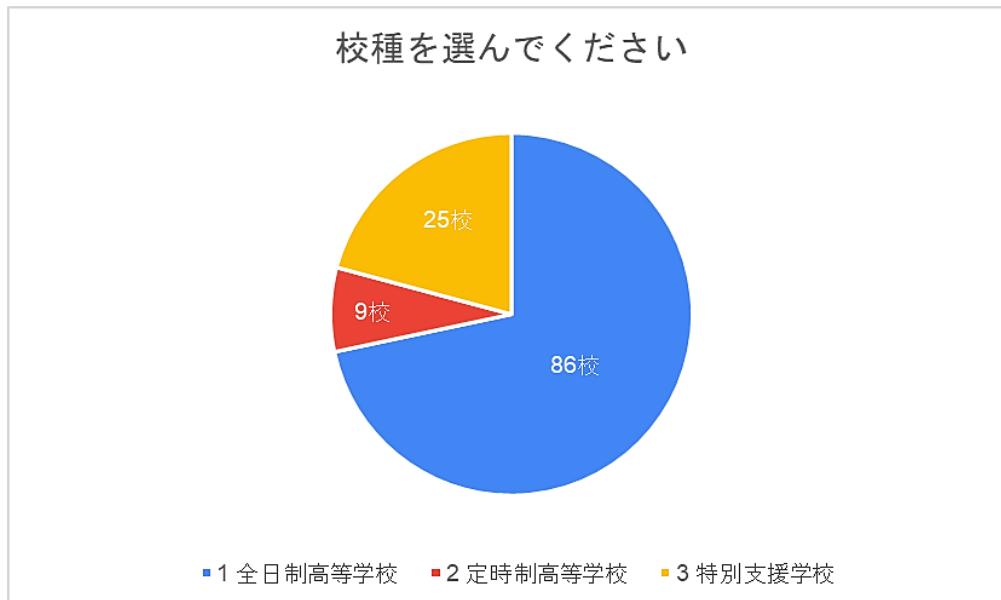
(2) 事務局にて入力、集計し、分析を含めてレポートにまとめて全加盟校に送信するとともに、本会のホームページに掲載する。また、理事会や総会にて適宜情報提供する。

## 6 調査と結果報告の手順

|               |                                    |
|---------------|------------------------------------|
| 令和7年10月上旬     | 全単Pに依頼メールを送信                       |
| 令和7年12月上旬     | {未回答校に再度依頼メールを再送}                  |
| 令和7年12月15日(月) | 回答〆切                               |
|               | データ集計、分析、調査報告書作成                   |
| 令和8年1月30日(金)  | 第3回本部役員会で情報提供                      |
| 令和8年2月6日(金)   | 第2回理事会で調査結果(概要)報告                  |
| 令和8年3月上旬      | 調査結果報告完成<br>→加盟校に送信<br>→ホームページにアップ |
| 令和8年5月中旬      | 第1回理事会で調査結果報告                      |
| 令和8年6月初旬      | 総会で昨年度調査と併せて報告                     |

## 7 回答に先立つ基礎データ

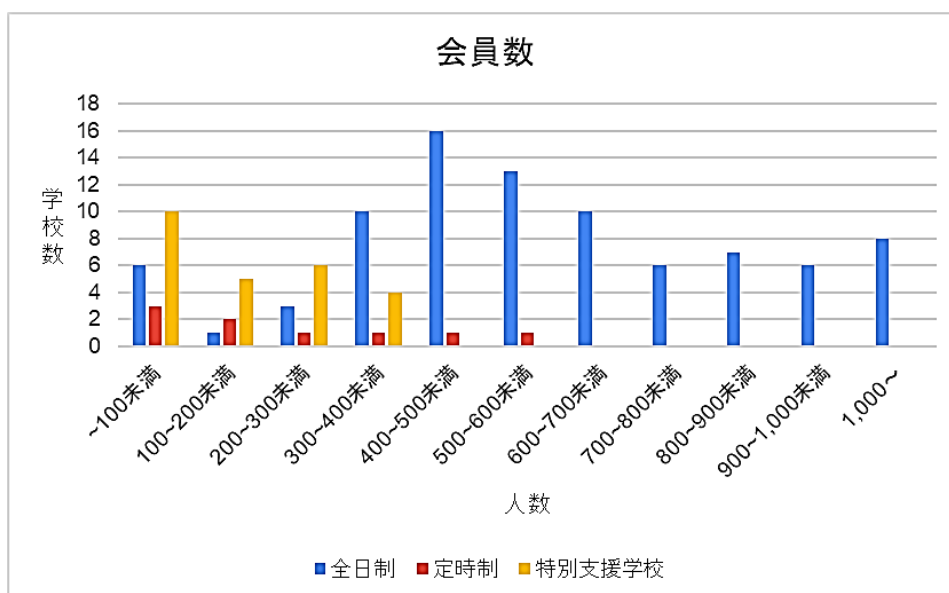
(1) 回答校の校種



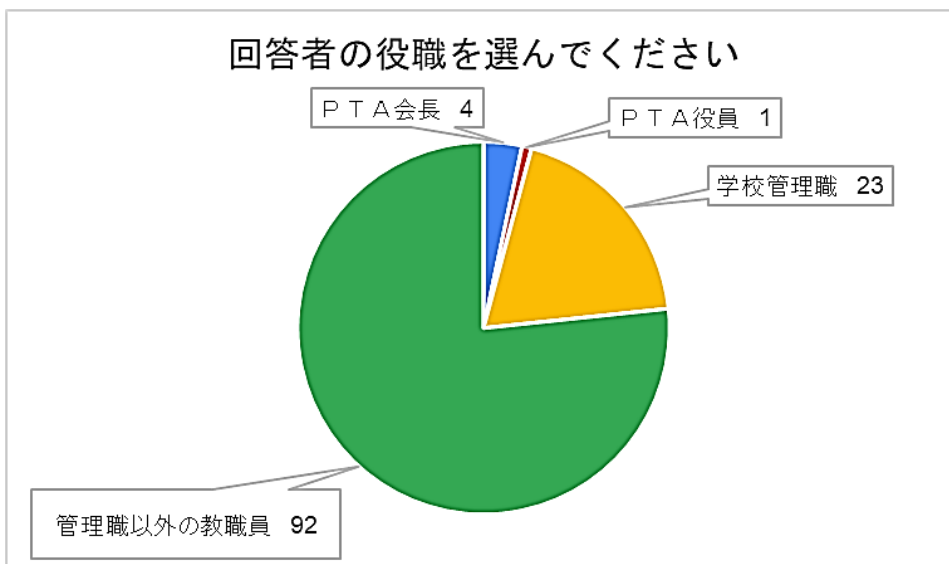
(2) 回答校の地区(本会の地区による。特別支援学校は1地区)

|           |    |
|-----------|----|
| 賀茂        | 4  |
| 三島・田方     | 10 |
| 沼津・駿東     | 9  |
| 富士・富士宮    | 8  |
| 清水        | 4  |
| 静岡        | 9  |
| 志太・榛原     | 13 |
| 掛川        | 6  |
| 磐田        | 9  |
| 浜松(北部・南部) | 17 |
| 特別支援      | 25 |

(3) 回答校の会員数

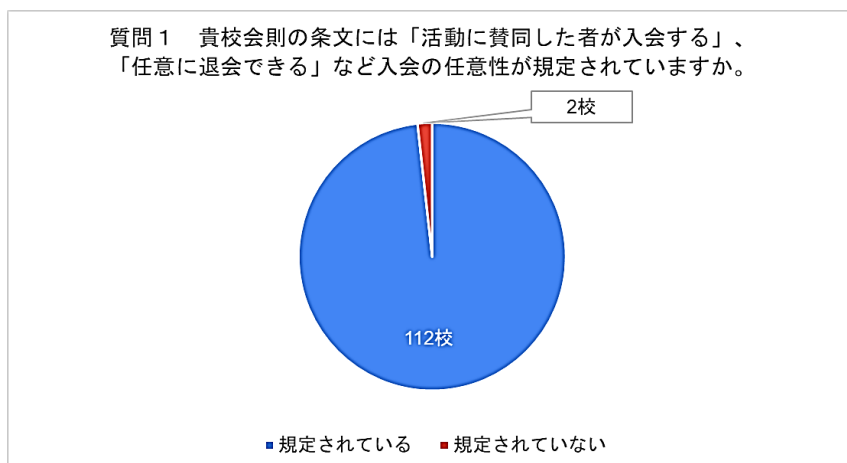


(4) 調査回答者の役職

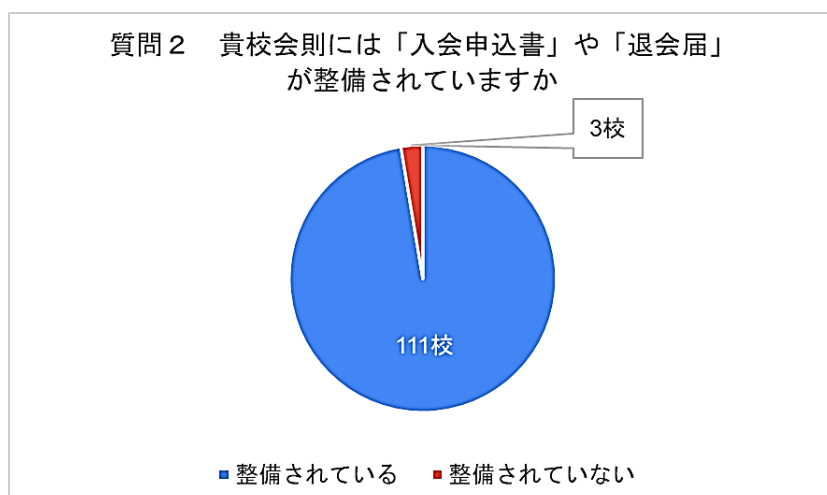


## II 調査結果

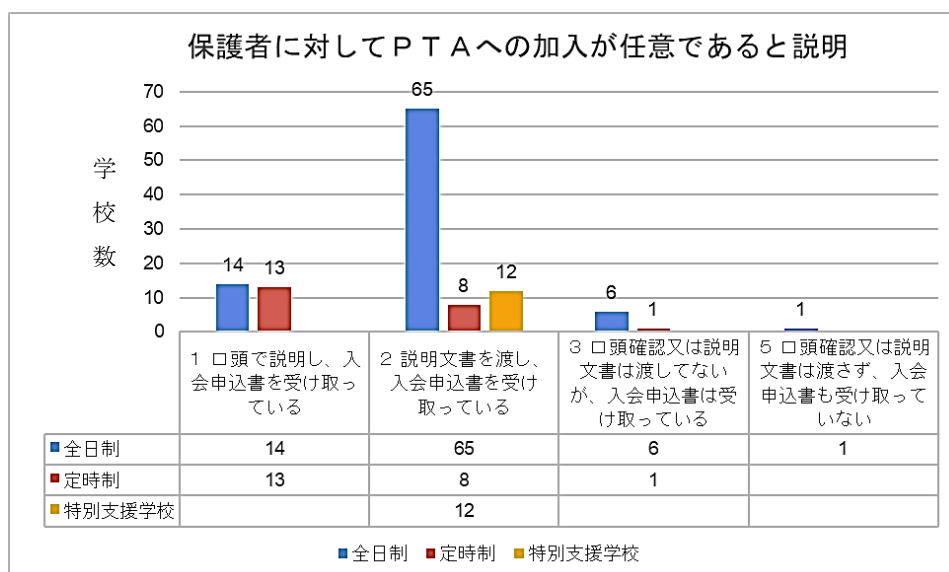
- (1) 貴校会則の条文には「活動に賛同した者が入会する」、「任意に退会できる」など入会の任意性が規定されていますか。



- (2) 貴校会則には「入会申込書」や「退会届」が整備されていますか



- (3) 貴校では、入学時や転編入時に、保護者に対してPTAへの加入が任意であることを説明し、併せて入会申込書を受け取っていますか



(4) 入会の意味確認の際に工夫している点がありますか(自由記述)

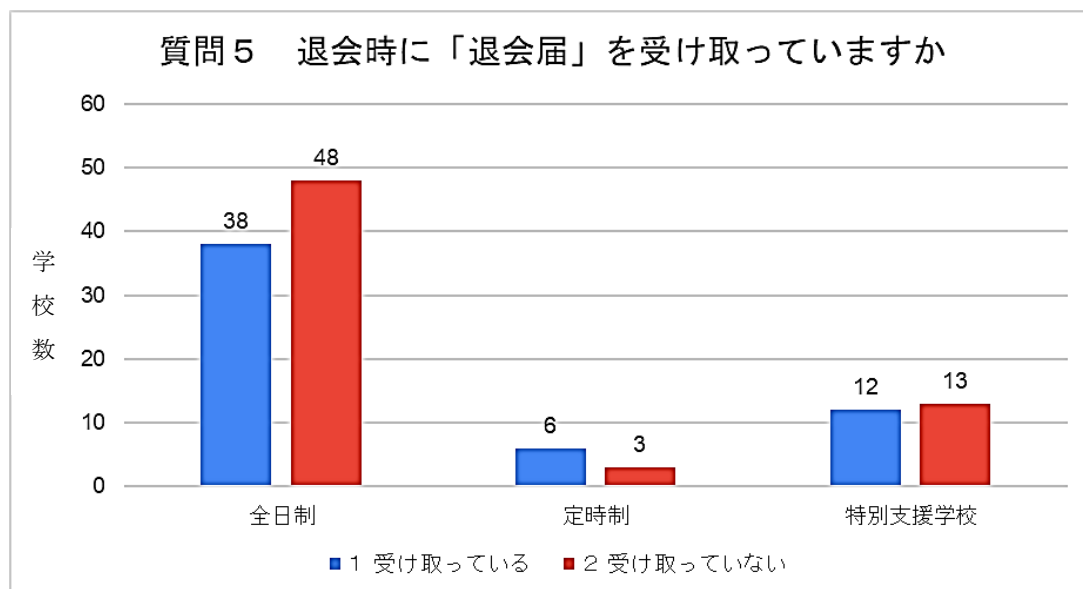
|        | 説明会を開いている<br>(入学式、入学説明会等) | 入会を迷う方に<br>個別に説明している | 規約、しおり、説明書等<br>を配布している |
|--------|---------------------------|----------------------|------------------------|
| 全日制    | 24                        | 10                   | 8                      |
| 定時制    | 2                         | 0                    | 2                      |
| 特別支援学校 | 14                        | 1                    | 1                      |

【回答内容一覧】 ※同じ趣旨の回答は一つにまとめた

|   |
|---|
| 学校側主催の説明会、PTA主催地区別説明会と2回を行って活動等の説明を行っている。   |
| 入学説明会時に説明している。PTA・後援会の案内を配布している。  |
| 必要に応じて活動等の説明を個別直接に行っている。  |
| 入学式の後PTA入会式をおこない、PTA会長から新入生保護者へPTAへの入会やPTA活動について直接説明の機会を設けている。PTA会長の説明の中で、本校のPTA活動の内容を伝えている。                                    |
| PTA規約を配布している。   |
| 入学式当日に、PTA会長から説明をしている。  |
| 入試の合格書類と一緒にPTAの案内の冊子を同封している。  |
| 質問があれば、具体的に答えている。   |
| 今までは意義等を説明してはいなかったが、来年度から入学式で話をする予定である。   |
| 新入生保護者に対して、入学式終了後に総務課長が口頭説明を加え、各クラスでの委員選出時にPTA役員が活動内容を説明している。   |
| 入学式で、保護者に直接説明し、特色のある活動を伝えている。また、行事の参加に強制はないことも話している。  |
| 入会の意志がないと申し出る保護者には、電話等で直接入会していただく理由を説明している。   |
| 入会を迷っている保護者へ直接の説明の機会を設けている。   |
| 入学式終了後に学校説明会を実施しており、冒頭でPTA会長より活動の説明等を行っている。また、入会意思のない家庭に対して、総務課で電話にて理由およびPTA活動の主旨等について説明している。その結果、主旨を理解し、入会(入会申込書の提出)していただいている。 |
| 入学式の日に関文書(会費の用途を記したもの)を配布して口頭での説明を行っている。  |
| 特色ある取組や活動を伝えている。  |
| 入学式にて活動を説明し、理事と評議員を選出している。  |
| 活動内容をまとめた資料を配布している。また、入会を迷う保護者に対し、説明の機会を設けている。  |
| 入会についての質問・相談は個別に対応  |
| 入学式のガイダンスで事務長から説明している。ガイダンス後には、PTA会長、および役員からPTA組織や活動内容について説明し、助言を行っている。   |
| 入学式での説明、負担軽減をしていることを説明する。   |
| PTAが生徒の高校生活を大いに支えている点を伝えている。  |
| 出来るだけ入会していただけるよう、PTAのしおりに細かく記載している。   |

|   |
|---|
| 入学のしおりに会則&申込書を組み入れている   |
| 合格者配布文書の封筒の中に、P T Aの具体的な活動を A4 判 1 枚に簡単にまとめたプリント（日本語・ポルトガル語で裏表両面）を入れている。              |
| 入会申込書が提出されなかった家庭には、P T Aに加入しない意思を確認するための確認票を渡し、提出を求めている。                              |
| 書面にて説明し、疑問点は先生より説明してくださっているようです。  |
| 年度初めの学年懇談会で保護者へ直接説明の機会を設けている。   |
| 入学前年度の学校説明会及び入学式後の学年懇談会時に、直接説明する機会を設けている。   |
| 入学説明会などでP T Aの説明をし、規約等を配っています。  |
| 入学のしおりと共に外郭団体のしおりを配布し事前に会則等を読んでもらい、オリエンテーション時に入会申し込みの提出をお願いし、その後入学式で入会者の方に会費を納入してもらう。 |
| P T Aとの懇談会でP T A活動の様子を写真や動画で紹介している。   |

(5) 退会時に「退会届」を受け取っていますか



「受け取っている」と回答した学校でも実際は卒業・転退学以外の退会は前例が無いという学校が多い。多くの場合は卒業・転退学時は会則上資格喪失になり(会長などの役員は新年度総会で退会)、退会届があっても使用した例はないという回答であった。「受け取っていない」と回答した学校も退会届がもともと無いのか、前例が無いために受け取っていないのかまでは不明である。また、特別支援学校では、本校と分校で対応例が異なるという回答もあった。

(6) P T A会費について

この調査については、以下の理由により回答に信憑性に欠けるのでデータは未掲載とする。

- ・他の外郭団体(後援会など)の会費が含まれている。
- ・部活動振興費、修学旅行積立金などの費用が含まれている。
- ・初年度会費に入会費が含まれている。
- ・定時制などP T A組織がない学校も回答をしている。
- ・特別支援学校では、幼稚部・小学部・中学部などもあり、回答そのものが困難である。

なお、年間の徴収回数(平均)については以下のとおりであった。

高等学校：全日制 2.3回 定時制 1.4回 特別支援学校：4.3回(10回以上に分ける学校4校)

### Ⅲ 諸問題・諸課題に対する具体的な対策

ここからは、加盟校に自由に回答をお願いした。原則として、原文のとおりに掲載するので、表記や文体に揺らぎがあったり、回答者の主観による箇所が含まれたりしているが、是非一読し、自校の問題解決や取組の改善に役立ててほしい。

#### (7) P T A会費に係る問題等があれば記入してください

##### 【全日制】

- ・会計の主な支出項目の一つに「部活動支援」があるが、部活動への参加が任意となったことから、支援の大幅な縮減や部活動に参加しない家庭の会費減額等、P T A離れを防ぐ対策の検討が必要となってくる。
- ・人数減少、収入減少となり、P T A全国大会等の維持も大変となってくる。オンラインのみの参加など費用的なスリム化も必要だと考えられる。
- ・規約等を読んでいただくだけでは、P T A会費に関する理解にずれがあり、正確に理解していただくための策をとる必要があるか検討していきたいと思います。
- ・入学式の時間がない忙しい時にP T A入会の説得に当たらなければならない。また入会式前にお金を徴収した、という正当なクレームを言ってくる保護者もいる。
- ・非入会生徒に対する実費負担の在り方。
- ・今年度はじめて、P T Aの入会を希望しない保護者がおりました。P T A事業に関する必要費用だけは3月に徴収することを伝えて対応し、P T A活動等には加わっていない。
- ・今現在は全員が加入しているが、今後非加入の家庭がでてきた場合の対応を考えなければならないこと。
- ・本来は県費等で賄うべきものが予算不足のため、P T A会費が使われていることが多い。図書館の本の購入など補足的にP T A会費を使うべきものが、ほとんどP T A会費からの支出で賄われている実態がある。
- ・P T Aでは事業に必要な職員を雇用しているが、賃金単価の上昇により人件費が嵩んでおり、事業の縮小や会費の値上げについて検討している。
- ・支出に関して、台風15号の竜巻被害に際し、減免・見舞金申請への対応を協議する場において、対象とする災害の種類や被災の程度について、個別に協議する必要性を再認識した。
- ・加入を希望していない保護者の実費で掛かる部分についての扱い
- ・未納者への督促の手間・未加入者に対する経費負担（現在は徴収していない）、未加入者が増えた場合の対応に苦慮している。
- ・口座振替手数料の予算の確保
- ・加入者と非加入者で校納金の請求金額が異なり連絡のやり取りが煩雑である。
- ・近年の働き方改革や業務改善もあり、学校行事の見直しやP T A行事の精選が行われているため、直接的なP T A活動に支出する割合が減ってきている（マラソン大会や講演会の廃止）。生徒数減にともない収入も減少しているので、今後のP T A会費の見通しを立てながら事業を執行していかなければならないと感じている。
- ・今のところ入会拒否はないが、こうした場合の対応を地区会などで共有できるとよい。

##### 【定時制】

- ・生徒数減少による収入減。
- ・値上げを検討しているが難しい。
- ・外国籍の方への理解、浸透が難しい。



委員会等削減により役員数を削減、地区の整理、専門委員会の廃止、任意参加の強調とオンライン活用、共同代表制組織への衣替えなど

◎ 会議や集まりの回数削減の工夫

理事会の回数削減、地区会の廃止、研修旅行等の廃止

◎ 組織・体制の整備

自由参加、役員以外の応援隊を組織、参加ポイント創設など組織体制の見直し

【全日制】

- ・ Cloud サービスを利用して、ファイルのセキュリティー向上と業務の効率化を図っている。
- ・ 社会の動きに対応した役員、委員の人数や仕事（役割）について検討し、必要により会則の変更を行っている。
- ・ コロナウイルス感染症対策によって縮小された活動をすべて戻すことはせず、必要な活動のみ残している。
- ・ 学級減やコロナ禍で組織や行事の見直しを行い、スリム化を図った。
- ・ 工夫とは異なるが、生徒数が減少し、それに伴い保護者数も減少している。現状維持も難しいのではないかという話題が出ることもあり、組織規模を見直す時期が来ていると思われる。
- ・ P T A専門員の定員を設けず、希望者のみに活動の協力をお願いしています。
- ・ 年末に、本部役員・4つの専門委員会の代表者・担当教員が集まり、相互に活動内容を振り返り次年度に向けた改善策について意見交換を行っている。
- ・ P T A本部役員の申し合わせ事項等を作成し、次年度以降の役職を事前に説明しています。
- ・ 本校P T Aは、会長を中心とした本部役員のリーダーシップで成り立っている。また、専門高校であること、家業である農家の関係等で、兄弟姉妹で入学してくる事例が他校より多いと感じている。役員さんも同様に、本校P T Aのことをよく知っている、理解している方が多く助かっている。
- ・ P T A事業は、積極的に行っております。P T A活動等の保護者が行うものは、規模縮小をしております。
- ・ 活動内容、役割分担を明確に提示する。
- ・ P T Aの負担軽減を進めている。
- ・ 役員には、学年ごとに参加してほしい行事を精選して依頼。
- ・ 年3回実施していたP T A役員会を年2回に精選した。（令和5年度から変更）
- ・ 役員数を最小にし、P T A会長を副会長との分担制にした。
- ・ P T A理事会を年3回から年2回に減らした。
- ・ 活動を精選しており、全会員対象の活動は設けていない。
- ・ 委員の業務がほぼなくなり、総会前のチェック機関としてのみ動いていただいている。
- ・ 参加者においては強制せず、可能な限りで活動していただく。
- ・ 学年のP T A役員数を減らしました。また、P T A顧問（もとP T A会長）を退任後に同窓会や後援会の役員へ移行するシステムを検討中です。学校行事の精選にともなって、P T A活動も縮小されています。

【定時制】

- ・ 忙しくP T Aに協力する余裕のない家庭が多いので、部会などはなく執行部の役員のみ。また役員が集まるのは6月の総会、3月の役員会、次年度6月の役員会の年3回のみ。
- ・ P T A総会の実施方法を、P T A会則を改定することにより変えた。コロナ禍を通じて実施していた「書面総会」を基本とするようにした。また、Cラーニングを活用しながら、より

確実・効率的にやりとりができるようにしている。

- ・会員同士の、LINEのオープンチャットを利用したPTA役員同士のつながり。

#### 【特別支援学校】

- ・会員数が少なく、同じ方が複数年役員をしてくださるため、配慮としてPTAの研修会などは、会場に近い役員の方が出られるように割り振っている。
- ・会長1名、副会長3名、以外の役職の廃止。会長、副会長の仕事について必要最低限の仕事を一覽にし、削減できること、廃止できることについて見直しを行った。
- ・令和5年度に組織のスリム化のため、役員の構成メンバーを減らした。参観会や日頃の子どもの送迎の時間を利用して、相談を行っている。
- ・会員数も少ないため、役員の人数を最小限に絞り保護者の担当する係もなくした。
- ・現在の家庭環境に応じた組織体制に合わせた活動になるよう話し合いをしている。今までの活動を見直し、必要性などを考え、選択している。今後も続けながら時代に合った活動になるように考える必要がある。(本校)
- ・開校2年目で役員自体も必要最小限で活動を実施しており、今後組織が大きくなってきた場合は役員専用LINEグループ等を作り、連絡方法の簡素化が図れると思います(分校)
- ・会計は副会長が兼任するようにした。
- ・PTA活動を整理し、3つのグループに組織を再編した。各グループにPTA本部役員2人配置し、各委員会に運営に協力する顧問教員をつけた。
- ・PTA活動の回数も見直し(削減)、役員の負担を減らした。
- ・本部、各専門部の活動のマニュアル化
- ・PTA行事に取り組む際、活動計画、活動報告を作成することで次年度の引継ぎがスムーズになっている。
- ・PTAのイベントを行うたびに「応援隊」というボランティアを募り人員を確保している。応援隊を募る方法が成功したため役員数の削減ができた。
- ・負担の多い担当を廃止したり、業務内容を見直したりした。
- ・活動の見直しをしている。COCOOにて会員にアンケートを実施し、今後どのような活動が必要か見直しを行う。
- ・令和7年度からPTA会長職、PTA副会長職を置かず、共同代表制の組織にして特定の人に負担がかからないようにした・
- ・役員ではなく、各学年委員にもっと動いてもらうこと。保護者全体で動くこと。

#### (9) 学校行事への協力・会議の効率化などに係る工夫があれば記入してください

##### 【全日制】

- ・バザーの代わりとして文化祭へのキッチンカーの運営を依頼。地元の商店などに参加してもらえた。
- ・奉仕作業を平日の授業内で実施する。
- ・できるだけPTA出席行事を1日に集約し、教職員や保護者の負担減を目指す計画とした。
- ・役員数の会議数を減少させたり、オンラインでの地区会を実施したり、負担を軽減している。
- ・学校で行う生徒の模試監督をPTAに請け負ってもらった。
- ・PTAの研修旅行を廃止した。
- ・コロナ禍以降学校行事への協力はあまりありません。今後検討することも考えられます。
- ・役員の学校行事への参加を希望によるものとした。役員会の回数を前年度より削減した。
- ・長距離走大会の補助の簡略化など

- ・定例会は本部役員のみとし、各委員会は4月当初の会議のみにしている。
- ・参加する行事は少ないが、なるべく負担のないように人数を調整し、時間交代制にしたり、会議についても議題がなかったりする場合は書面開催とした。
- ・富士・吉原・富士宮の3支部で分担して、PTAの行事や学校行事（模試の監督や学校祭など）の補助を実施している。
- ・総会の書面開催。来年度より理事会のZoom開催を計画。行事の徹底的な削減。
- ・文化祭など子供の様子を見ることができると協力をいただいている。
- ・行事等では必要最低限の協力で済むようにしています。また、会議等で来校していただく機会を減らすように、楽メ（保護者連絡用）を有効に使用しています。
- ・本部役員と4つの専門委員会では、それぞれグループLINEで繋がっていて、情報伝達の効率化を図っている。
- ・必要に応じて書面決議を行っている。
- ・令和2年頃からコロナ禍となり、学校行事も延期・中止・規模縮小となっている。そのため、PTA行事も縮小したが、工夫しながら効率化を図っている。
- ・役員に大きな責任や負担のかかる内容にならないようにしている
- ・なるべく学校行事に参加していただき、活動の意義を実感してもらえるようにしている。
- ・案内・連絡を事前にしている。会議の進行表を事前に作成する。
- ・現時点では、例年通りのPTA活動・事業をおこなっているが、今後徐々にスリム化を図っていききたい。
- ・PTAの会議を学校行事に合わせて開催し、来校回数を削減する予定。
- ・PTAの係る行事を減らした。常任委員に年度をまたいで出席を要請する会議を無くした。
- ・保護者の仕事に支障がない範囲での協力をいただいている。例えば、仕事に支障をきたす昼間行事の廃止（例：PTA大学見学、長期休暇中の学習へのPTAの応援活動、他）。また、あまり必要性を感じないものを廃止したり、年間複数回ある行事の回数を減らしたりして、スリム化してきた（例：保護者進路勉強会や交通街頭指導の回数を減らした）。
- ・年3回ある役員会のうち、第2回の役員会は書面開催としている。（協議事項が無く、報告連絡のみの内容のため）
- ・PTA役員会を実施しているが、議事の内容次第で書面開催を行っている。
- ・c-learningを活用し、役員会の回数を減らした
- ・PTA総会を常時書面決議に変更
- ・連絡等はCラーニングを活用して、確実に確認できるようにしている。学校行事等の出席について、御都合がつかなければ欠席してもよい旨を伝えている。年2回の委員会を第1回は書面開催、第2回は実開催（役員）と書面開催（委員）としている。
- ・委員会の廃止。地区会の廃止による会議の削減。
- ・文化祭へのPTA参加は、任意であり、PTA会長が中心となって理事会で内容を協議し、役員会で協力を呼び掛ける。
- ・後援会とPTAの役員会を同日開催とした。行事への協力は積極的な見学にとどめた。
- ・専門委員（進路、保健など）には対応した行事への参加や業務補助をお願いしている。
- ・出席率向上のため、一部役員会・委員会を、平日夕方に開催している。
- ・入学のしおり、総会及び総会冊子、理事会にて事業内容・日程を説明している。
- ・役員の自主参加・自由参加にしている。
- ・PTA理事会を年3回から年2回に減らした。また、PTA総会を対面開催から完全書面開催とした。
- ・議題の精選を行っている。3つの委員会（広報・環境整備・生活安全）が、生徒・学校のよ

り良い環境づくりのために最小限の負担で活動している。

- ・会議資料の事前送信を徹底している。
- ・活動を精選しており、P T A 役員の業務は年 2 回の理事会(委任状可)と学校祭バザーのみにしている。
- ・P T A 行事を精選し、過重なものを断捨離する。
- ・書面で済むものは積極的に採用する。
- ・コロナを機に P T A 総会の書面開催を続けています。P T A 役員会議はそれまでと同じように実施しています。P T A 活動自体は縮小されていますが、学校説明会の受付補助など教職員減少を補うような活動をお願いしています。
- ・会議については、なるべく短時間で終わることが出来るよう進行に努めている。また、学校行事への協力については、委員会ごとの動きとしている。
- ・P T A 理事会時には教員による校務報告を無くし、総会にて全会員に対して説明を行う。

#### 【定時制】

- ・各部会により行事への協力を求める等のことは一切していない。
- ・全日制・定時制の P T A 会長・副会長と管理職が集まって、P T A 活動に関する話し合いをする場を設けた（この 2 年間）。
- ・オンライン配信ツール（本校では C ラーニング）の活用

#### 【特別支援学校】

- ・前年度中に新役員のほか、高 P 連等の役割などを細かく分担して決めている。
- ・これまで年 4 回実施していた役員会を、そのうち 1 回を紙面開催にした。
- ・年 3 回の役員会と年 1 回の総会を行っています。総会については、資料を事前に配付し、内容を確認いただき、当日は対面で総会を行っています。
- ・情報共有にグループラインを活用している。
- ・学校、P T A 双方で負担の偏りがないよう話をして進めていける努力をしている（本校）・必要に応じて、可能であればオンライン（T e a m s、Z o o m 等）を活用した会議による移動時間の短縮などが図れると思います（分校）
- ・コロナ禍を機に、役員会（会長・副会長・庶務・専門部長・学校職員が参加）の回数を年 6 回（以前は 10 回くらい）に減らした。・総会は書面開催・夏休みに行っていた子ども向けイベント、土曜日に行っていた奉仕作業を廃止。
- ・校外の会議・研修会には、すべて会長が参加するのではなく、本部役員も参加。年間計画を作成し、分担して出席できるようにした。
- ・授業参観、学校行事等、来校時に合わせて P T A 役員会を設定している。
- ・現時点ではとくにないが、会員の負担感の軽減等を意識した方策などを、本部役員を中心に話題にしている。
- ・特にないが、会議の効率化など他校の取組や工夫を参考にしたいと考える。
- ・グループラインを活用して、対面で集まる回数を減らすことが出来る様に、また対面で集まった際の負担が軽減するように努めております。
- ・会議の案内、出欠を COCOO での配信、回答としている。
- ・「できることをできるタイミングで」をモットーに「応援隊」で参加の機会を作ったことで、役員をすることは難しいけれど「子供のために何かしたい」という P T A 会員が多数参加、協力してくれるようになった。（例：面談時間前後の校内草取り、雑巾縫い、運動会の用具出し入れ等手伝い、ベルマーク収集、作品展への出品など）

- ・コロナを機に、バザー、夏祭りの実施をやめている。
- ・来年度から、これまでPTAが担ってきたスクールバス委員をPTAから分離し、スクールバス 利用児童生徒の保護者から選出する。
- ・参観会など来校する機会がある時に、奉仕作業など抱き合わせで計画し、来校する回数を増やさないようにしている。
- ・学校行事と同日にPTA行事を設定し、会員が参加しやすいようにした。また、学校情報共有システムを活用し、集合せずに意見収集できるようにしている。
- ・会議の効率化：LINE のグループ通話での会議など、オンライン会議をすることで学校に来る機会を減らした。
- ・学校でとにかく顔を合わせて集まることが一番効率的である。
- ・PTA活動日と学校行事の日を合わせて、PTA活動に参加しやすくする。

(10) 役員選出方法に係る工夫があれば記入してください

**【全日制】**

- ・PTA会長の選出は、前年度の副会長が会長になるように依頼している。
- ・今までは地区ごとに役員を選出していたが、全校全学年から役員を募る方法を模索する。
- ・3年副会長の中から、会長の補佐役として、筆頭副会長を1名選出した。2年副会長の人数を多くし、その中から会長を選出するようにした。
- ・募集時に、活動状況や役員の感想などを紹介している。
- ・入学時に来年度以降の選出を行っております。
- ・入学式、卒業式でのPTA会長の挨拶を任意としたことで、PTA会長になるためのハードルを下げた。
- ・本部役員以外のPTA役員の任期を3年から1年に短縮し、負担軽減を図るとともに、より多くの人にPTA活動に関わってもらえるように選出方法を見直した。
- ・地区別役員を廃止し、各HRより2名の役員を選出するように変更
- ・入学式後、1年～2年までの役員を補欠を含めて選出。3年時のPTA会長・副会長は、2年次の修学旅行の説明会后に選出とした。
- ・入学提出書類に役員、理事の希望をとり、PTA活動に意欲的な方に取り組んでもらえるようにした。(理事の定員を超える希望有)
- ・立候補をお願いしているが、ここ2、3年は抽選での役員決めがほとんどである。
- ・理事については、入学する際に紙面にて仕事内容や行事等での役員特典を明記し立候補を募る。文化祭時、体育大会時に優先特典を設け、立候補しやすい環境を整えている。

**【定時制】**

- ・本校の行事の際、自家用車の乗入を許可している。
- ・毎年年度当初に、各担任から比較的役員を引き受けてくれそうな保護者を挙げてもらい、PTA担当者が連絡をお願いしている。
- ・入学前の提出書類の中に、『PTA役員選出についての事前アンケート』を入れ、全員に答えてもらう。その中で以下の項目に○をしてくれた保護者に総務課から入学式までに電話をしておく。入学式後のオリエンテーションで、現PTA役員からPTA活動の説明があり、それを聞いた後に、1年生の保護者の中からPTA役員になってくれる人を20名ほど募っていく。「活動の内容・日程によっては、引き受けることができる」 「電話で活動の詳細を知ることができたら、引き受けることを考える」
- ・入学時に、学校行事等に援助をしていただくボランティア登録のお願いをし、文化祭等でボ

ランティアとして活動に関わっていただいた方の中から適任と思われる方に、P T A役員から声掛けをしている。

#### 【特別支援学校】

- ・ほとんどの会員が参加し、数年先までを考え、話し合いながら決めている。
- ・小人数ですが、全員で協力を合言葉に進めています。
- ・近年は2年任期にしている。
- ・大きな役になると何日もかけて話し合いが行われるので、工夫があれば教えてほしい（本校）
- ・役員は極力最小限にし、行事で役員が必要な時にはボランティア（父親等）に協力を仰ぐ（分校）
- ・2学期始まってすぐの時期に、各学年のP T A取りまとめの方に集ってもらい、役員の活動内容説明、選出方法のアドバイスをした後、質疑応答の機会を設けている。会長に関しては、個別に説明をすることもしている。
- ・新入生は、入学説明会時にP T A会長または副会長が役員の活動内容を説明の上、選出をしている。高等部は学年全体が集まる機会が少ないため、入学説明会で卒業まで3年間の役員を決定している。小中学部の2学年以上は、参観懇談会で保護者が集まる機会を活用し、決定。
- ・本年度、各係の引継書を作成しており、役員の仕事を明確にする工夫をしている。
- ・本校での役員選出においては知的障害児の保護者には2学期の参観懇談会の際に当該年度の役員さんが主導して次年度の役員さんを決めてくれております。現状問題なく決めることができっております。肢体の障害児の保護者様には懇談会で集まる機会もないため、当該年度の役員さんの声掛けで決めています、難航することはありつつも何とか決まっています。また、役員選出の時期が近付くと、次年度役員の選出をお願いする書面を、コクーで一斉配信してもらっています。
- ・各専門部長を務めた方からスカウトする
- ・11月に高等部1年保護者に役員立候補（可・不可）に関するアンケートを取り、候補者がいない場合等に、役員選考委員からの依頼を行うようにしている。
- ・P T Aのインスタグラムで役員の活動を発信し、活動内容が見える化をしている。
- ・候補者選出の際、学年の人数に差がある場合は、選出を2年に1度にしたり、候補者の兼任可としたりするなど融通を図っている。
- ・入学式の時、会員が全員揃う時に決める。
- ・これまで、保護者だけで決めていたが、今年度から教員にも参加してもらうことになった。
- ・とにかく人と会うこと。
- ・学校行事など、大勢の保護者が集まる機会を利用している。

(11) 貴校PTAの特色ある活動や長く続けている取組を記入してください

【全日制】

| 区 分     | 内 容  |
|---------|--|
| 学習活動・授業 | 土曜（休日）補講・講習 4、地域課題探求活動支援、図書ボランティア、外部模試   |
| 文化祭     | 校内巡視 2、シャトルバス運行、キッチンカー手配 4、バザー8（売上げについては、経費を差し引いて生徒会へ寄付）、模擬店 10、募金活動、駐車場整理、PTA展、文祭参加 4   |
| 環境整備    | 校内清掃 4、緑化作業、地域清掃、奉仕作業 2、清掃活動 2   |
| 交通安全    | 街頭指導 8、登校指導、交通安全指導 2、夜間巡視、ショッピングモール巡回  |
| 進路指導    | 職業講座 3、就職希望者対象面接指導 4、PTA研修旅行 5（大学見学・企業見学含む）保護者対象進路勉強会、大学講座、教育講演会、合格祈願、進路講演会、   |
| 体育的行事   | 走路監察 3、飲料提供 4、炊き出し（豚汁）2、給水所、補助活動 2、協力・補助 3、テント設営   |
| 文化的行事   | サンバパレードの警護   |
| その他     | 挨拶運動 10、PTA新聞・会報の作成 4、PTAと生徒会の懇談会、PTA主催の研修会 2（紙切り教室、カツオ料理教室）、保健委員会参加 7（薬学講座など）、保護者と教職員の懇談会、エコリサイクル、学年委員主催の保護者会、一日体験入学・オープンスクール協力 |

【全日制】

- ・今年度、保護者からの要望（下校ルートが暗くて危険な箇所があるので、街灯を設置してほしい等）に応える「課題解決型PTA」として活動している。実際に危険箇所に街灯を設置した。
- ・生活指導委員会による生徒及び送迎の保護者に対する登下校のマナー向上の呼びかけ。
- ・生徒・保護者・教職員が共に学ぶ特別講座の実施。
- ・学習支援事業、部活動支援事業、教育振興事業。
- ・PTA広報役員による写真撮影を通じた広報活動。
- ・全国高等学校PTA連合会大会へ複数派遣。
- ・同窓会と後援会との共催事業で、遠距離通学者向けの通学費用助成制度を行っています。（鉄道の定期代が月額 14800 円以上の生徒対象）
- ・PTA活動を活性化するというよりは、PTA役員や保護者を通じて地域とのつながりを強化していくという方向にシフトしています。
- ・PTAの焼印（生徒作成）が入った特製のどら焼きを作り、生徒の郊外走やPTA理事会時に提供している。PTAのぼり旗、PTA役員特製ポロシャツ、ウインドブレーカーを作製し、生徒の部活動大会時にPTA役員が熱心に応援をしている。

【定時制】

- ・文化祭への模擬店出店、花いっぱい運動。
- ・文化祭後のPTA企画として、記念品を作成して生徒一人ひとりに手渡す活動をしている。
- ・定時制生徒へ様々な文化芸術に親しむための芸術鑑賞会をPTA主催で実施している。

- ・ P T A保護者懇談会（年1回 10月開催）。文化祭への P T A企画での参加。卒業式での卒業証書フォルダの贈呈

#### 【特別支援学校】

- ・「点字ブロックキャンペーン」…沼津駅での街頭ティッシュ配布や近隣高等学校へのティッシュ配布依頼を通じて、点字ブロックの理解推進に努めている。
- ・今年度は P T A、保護者、地域の方々に招いて合同の防災体験会を行った。講師は日本赤十字の方をお願いをし、簡易的な炊き出しやトイレの設置、段ボールベッドの設置を行った。体育的行事の準備や片付けの。 P T A種目の開催。
- ・奉仕作業…5月下旬の運動会前に P T A主催で、地域の方々にも参加をお願いして、運動場や校舎周りの整備を行っています。12月には、 P T Aだけで校舎内の窓ふきなどを行っています。
- ・食育について、ペースト食や刻み食など、児童生徒のための講習会を開催した。
- ・本部役員や理事達の思いと努力で続けられていると思っている。今後は、座談会、研修会の内容をより良いものにし、 P T Aの在り方を考え、よりよい活動になるようにし、長く続けていける工夫・取組にしたい。
- ・保護者のための講演会を開催。子どものための進路や福祉といった視点だけでなく、大人自身に対して物事の考え方や捉え方あり方を見直し、提案するような内容で行った。2年連続同じ話し手をお招きし、1年目は10月開催、2年目は教職員が参加できるように8月に開催した。
- ・年に2回（6月、1月）に座談会を開催。小学部から高等部までの参加者を縦割りで6人ほどのグループに分け、ちょっとした悩み相談や進路の疑問など、普段つながりにくい保護者同士でざっくばらんに話す機会となっている。今年度1回目は、前半に足のセルフマッサージをレクチャーした。リラックスすることができ、そのあとの座談会でも打ちとけることができた。2回目の前半には、オーガニック給食用の有機野菜を学校へ納入しているシードバンクの方を講師として招き話をしてもらう予定。
- ・ P T Aと学校、地域との協働活動であるお茶プロジェクト。静岡の特産であるお茶の生産から流通 を体験することでお茶に親しむとともに地域の人たちと交流することで、社会参加を促進する ことを目的に、和紅茶の製品化と活用に取り組んでいる。
- ・松葉かき交流会。三保松原の保全活動として三保松原 3Rings プロジェクトが主催する松葉かき 交流会に保護者、児童生徒、教職員が参加。参加者同士の交流や、作業を通して地元を愛する心 を育て、児童生徒の卒業後の余暇活動となることを目的に、今年度は6回計画をしている。
- ・リサイクル交換会を各学部1回実施。不要となった制服や体操着等の学用品を各家庭から集め、希望する家庭に譲渡している。
- ・企業と連携した校内整備。安心安全な学校をつくるために、保護者、職員でクーラーのフィルター掃除や窓ふきなど環境整備作業を行っている。昨年度、中学部の校内整備を、本校卒業生が在籍している日軽金オーリス(株)と連携して実施。保護者が本校卒業生の社員から窓ふき等の清掃 の仕方を教えていただき、一緒に作業を行った。保護者が学校卒業後に社会で働くイメージを持つことができ、有意義であった。
- ・進路学習会「進路先と語ろう」。保護者、職員が企業関係者及び福祉事業所関係者との懇談を通して、児童生徒の自立や社会参加について考えることを目的に実施。企業、福祉事業所7人と保護者教員46人が3つのグループに分かれ、事業所の生活の様子や理念、子どもの社会参加に向けて大切に思うこと、卒業後の生活において在学中に家庭で取り組むとよい

ことを話し合った。

- ・座談会（保護者や教職員の誰でも参加できる）の開催により、子どもについて何でも相談できる繋がりを実感できるように、意図をもって仕掛けている
- ・募金活動・・・各学年の保護者会時に、任意での募金活動を行っている。集まったお金で、児童生徒等の安全に係る物品を中心に購入している。
- ・「校内清掃」「秋まつり」は、長く続けている。やれる範囲で楽しく取り組んでいる。
- ・本校では特別に長く続けている活動というものはございませんが、あえて特色を挙げるといたしますと、活動のスリム化に力を入れていて、保護者であるPTA会員さんにとって負担の少ないPTAではないかと考えております。
- ・「意味ある学級活動」として、学年懇談等をPTA委員が計画して行っている 光る子まつり（学校文化祭）でのPTAバザーの開催 PTA日より、広報誌「光る子」の発行
- ・PTAあきまつり（学校祭で、学部ごとに昼休みを利用し、保護者が企画したゲームコーナーに地域ボランティアの方々にも参加してもらい、良い交流の場となっている。）
- ・保護者対象の企業見学会実施。（卒業生が就職している企業や特例子会社などに見学に行き、仕事内容などの説明をしていただき、進路について学んでいる。）保護者座談会（保護者及び職員が集い、子育ての悩み等を話す機会としている。）・学校の文化祭において、PTA企画として児童生徒が参加できるゲーム大会を行っている。
- ・「応援隊」活動を通して多くのPTA会員が参加できる仕組みを作っている。合わせて役員だけに負担がかからないように IT ツールを使った運営の簡略化にも取り組んでいる。面談時間前後の校内草取り、雑巾縫い、運動会の用具出し入れ等手伝い、ベルマーク収集、作品展への出品など
- ・まずは子供が優先、次が保護者と考え、子供の通院や保護者の都合を優先できるようにして強制参加にしない。
- ・会議はオンラインで開催、会議内容は SNS 等で共有する等の工夫を行っている。
- ・奉仕作業 制服等のリサイクル活動 PTA会報「さかみち」「遠州灘」の発行 黄色いレシート 施設（事業所）見学 給食試食会 スモーク体験 防災用品の展示
- ・学区を5つに分け、小学部から高等部までの同じ地域に住む会員同士のつながりをもつようにしている
- ・「できるときに、できることを」をモットーに、必要な活動を精選して取り組んでいます。
- ・おしゃべり座談会
- ・進路講演会の実施、制服のリユース、PTA便りの発行、草取りや清掃等の環境整備活動

## 令和7年度単位PTA活動調査 設問一覧

校種選択 ( 全日制高校・定時制高校・特別支援学校 )

地区選択 ( 地区 ※特支を含む県下11地区)

学校名記入 ( )

記載者記入 ( 職・氏名・メールアドレス )

### 1 PTA加入の任意性について

- (1) 貴校会則の条文には「活動に賛同した者が入会する」、「任意に退会できる」など入会の任意性が規定されていますか。
  - ・規定されている
  - ・規定されていない
- (2) 貴校会則には「入会申込書」や「退会届」が整備されていますか。
  - ・規定されている
  - ・規定されていない
- (3) 貴校では、入学時や転編入時に、保護者に対してPTAへの加入が任意であることを説明し、併せて入会申込書を受け取っていますか。
  - ・口頭で説明し、入会申込書を受け取っている
  - ・説明文書を渡し、入会申込書を受け取っている
  - ・口頭確認又は説明文書は渡してないが、入会申込書は受け取っている
  - ・口頭確認又は説明文書は渡すが、入会申込書は受け取っていない
  - ・口頭確認又は説明文書は渡さず、入会申込書も受け取っていない
- (4) 入会の意思確認の際に、工夫している点はありますか(自由記述)  
(保護者へ直接説明の機会を設けている、特色のある活動を伝えているなど)
- (5) 退会時に「退会届」を受け取っていますか。
  - ・受け取っている
  - ・受け取っていない
- (6) 上記(1)～(5)までの回答に補足する事項があったらご記入ください(自由記述)

### 2 PTA会費について **★後援会・部活動振興会・同窓会・学年費などは除いてください**

- (1) 年間のPTA会費額を記入してください(後援会費・部活動振興費・同窓会費・学年費などは除いてください)
- (2) 1年間の集金回数は何回ですか
- (3) PTA会費に係る問題等があれば記入してください(自由記述)

### 3 PTA活動に係る工夫について

- (1) 組織自体のスリム化、効率化に係る工夫があれば記入してください(自由記述)
- (2) 学校行事への協力・会議の効率化などに係る工夫があれば記入してください(自由記述)
- (3) 役員選出方法に係る工夫があれば記入してください(自由記述)

### 4 特色あるPTA活動の取組について

貴校PTAの特色ある活動や長く続けている取組を教えてください(自由記述)

## 静岡県公立高等学校PTA連合会

〒420-0853 静岡市葵区追手町3番11号

しずおか焼津信用金庫追手町ビル6階

電話番号 054-255-4678 FAX 番号 054-255-4699

E-mail : post@hs-PTA-shizuoka.net

ホームページURL <https://www.hs-PTA-shizuoka.net/>